



陵南フェスタ ～ジョイントコンサート～

平成23年11月3日(木・祝)

陵南中体育館にて



▲東浅川小学校合唱団 & 陵南中学校吹奏楽部

その後、ジョイントとして陵南中吹奏楽部も加わり八十九人の大編成で一緒に二曲演奏。その一曲目では、陵南中吹奏楽部をご指導下さる指揮者の原田先生が、トランペットで演奏に参加して盛り上げて下さいました。

第1部は、東浅川小学校合唱団のみなさんの爽やかで澄んだ歌声のあと、今回初めて合唱に陵南中吹奏楽部の演奏がついた「大地賛頌」をジョイント曲としてご披露いただきました。小学校と中学校が連携をしていく時代

にふさわしい内容となりました。

第2部は、陵南中吹奏楽部の演奏。かわいいダンスのついた曲もあり、楽しいステージとなりました。

第3部は、コンクールでいつも金賞を獲得し、海外でもコンクール一位をとるなど大活躍している東海大学付属高輪台高校吹奏楽部のみなさん。重厚でパワフルな演奏、ポップス曲では赤い上着を色とりどりのバンダナに替えて華やかに。

小中学校のジョイント演奏、高校のジョイント演奏共に、当日初めてあわせて練習を行い実現しています。特に小学生にとって、吹奏楽の伴奏で歌うのも、厳しい原田先生に指導を受けるのも初めてのこと。戸惑いもあったようですが、立派に歌ってくれました。

一昨年、陵南中学生としてこの行事に参加し、今回高校生になって母校を訪れた生徒もいます。子供たちにとって、上級学校の生徒たちとの交流が貴重な体験となっているようです。



▲東海大学付属高輪台高校吹奏楽部 & 陵南中吹奏楽部

銀南ん

第 49 号

青少年対策陵南
地区委員会事務局
042-665-4711
(陵南中学校内)

特集

2.3ページ

ありがとうを
つなげよう



横山第二小学校

みんなのおじいちゃん

図書ボランティア 福田 信夫 さん

子供や先生、お母さんたちと話すことが楽しい。先生やお母さんたちは、自分の子供のよう。生徒たちは孫のようです。子供たちがかわいい(*^_^*)



孫が貰ってきた図書ボランティア募集のお手紙で知り、始めて3年が経ちました。毎日、昼休みにいます。

私はとにかく本が好きで、活字中毒です。某新聞に「同人誌時評」を書いたりしています。

これだけ沢山本があるのだから、教室とは違う「ほっと感」を感じる場所に図書館を利用してほしい。一日一回は時間を決めて毎日読むような癖をつけてもらえるといいなあ。癖というものは、毎日の繰り返しでつくものです。



学校には様々な形で関わってくださる地域の方がいます。子供たちと直接ふれあうボランティアもあれば、知らないうちにそっとやってくださる方もいます。どの方も、子供たちのために、そしてご自身のためにも、生き甲斐を持って続けてくださっています。

地域と学校とが、こんな形でもつながることが出来る、と地域のみなさんに知っていただけたら嬉しいです。

今回は、代表的なボランティアを中心に、紹介します。



東浅川小学校

放課後子ども教室推進委員 兼 安全管理員

あさお かつひさ 浅尾 勝久 さん

放課後子ども教室…東浅川小では、平成21年9月から放課後の子どもの居場所づくりのために地域の方々が毎日、安全管理員として来てくださっています。

君たちが元気にあいさつしてくれるととってもうれしいよ！僕も元気にあいさつするね！

始まった時からいるよ！

きっかけ？町内の回覧板で募集を見たんだ。3年目だよ！

子どもたちとたくさん話ができてうれしいです！

1に安全！
2に安全！
3、4がなくて
5に安全!!



浅尾さんは安全管理員だけでなく、子どもたちに色々な体験をさせようと推進委員としても企画・運営に携わってくださっています。児童の将来を考えて、時には厳しく時には優しく、いつも全力で褒めて、叱って、愛情たっぷりで見守ってくださっています。これからもよろしくお願いいたします。

愛犬家



散田小学校

おおつか えいぞう

大塚栄造 さんは、通学路のバトロールを行う学校安全ボランティア活動を始めて10年以上。毎日、下校時に散田小の東門に立って、子どもたちを見守っています。

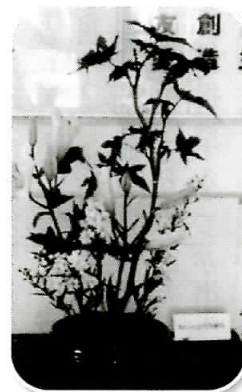
日々、元気な子どもたちと接して言葉を交わすたびに、「続けてきて良かった。」と感じるそうです。「心に残っているエピソード」をお聞きすると、「6、7年前までは、校門が開く30分くらい前に来る子どもたちが5、6人いたので、ジャンケンなどをして相手になってや



っていました。」と話してくださいました。

子どもたちや保護者に伝えたいことは、「親子の強固な信頼関係を築くこと」。親と子が良い関係であってこそ、子どもたちが安心し、安全に過ごすことができるのだと思います。

陵南中学校



本校一階の来校者玄関入り口には、いつも季節のお花が活けられていました。その花は、『MOA山月光輪花』の神田さんが本校の開校以来、活けてくださったものです。

神田さんは月に2～3回ご夫妻仲むつまじく来校し、ご主人が手渡したお花を奥様が活けてそっとお帰りになります。「生徒の皆さんや先生方、来校される方にお花を見ていただけて、少しでも良い気持ちになっていただけたら嬉しいです。」とおっしゃっ

てくださいました。神田さんのお話から、優しさや広い心に触れることができました。

ちなみに、昨年末にお引っ越しをされたので、残念ながらその花台には今はお花がないままです……。



桐田小学校

八木さん・吉原さん・山崎さん・大塚さん
三浦さん・鈴木さん・平井さん



八木さんたちは、壊れて長らく使えなかった校庭の池を5年前に復活させました。池いっぱいにたまった泥を取り除き、ひび割れを塞ぎ、配水管なども直し、ようやく鯉が泳ぐ池になりました。今も、池と鯉の世話をなさっています。鳥のサギが鯉を持っていくこともあり、そんなときは、そっと新しい鯉を放しておくそうです。

「その池で、子どもたちが生き物の大切さを学んでくれるようになったことが、一番嬉しい」とおっしゃっています。



左下から時計回りに、八木さん、大塚さん、三浦さん、吉原さん

講演会

『児童養護施設から見た
現代の親の姿』

曾田 等氏

二月四日(土) 青少対陵南地区の主催で、青梅市にある児童養護施設「東京恵明学園」児童部園長曾田等氏の講演会を開催しました。青少対委員のほか、小中学校のPTA、陵南中の地域運営協議会委員、近隣地区の育成指導員など多くの方にお集まりいただきました。講演内容を紹介します。

児童養護施設は、児童相談所を経て保護の必要な子を預かる施設です。市民から直接子を預かることは出来ませんが、緊急時のショートステイは、市に相談すると可能な場合があるそうです。

虐待には、精神的・身体的・性的・ネグレクト(育児放棄)がありますが、疑われる場合は誤りでも構わないので、すぐ児童相談所や民生委員などに通報してください。

虐待を防ぐ為には地域の力が大切です。事情があつて、妊娠を悩んでいる人や母子手帳を持たない人の助けになりたいです。皆さんに精神的に安定して産んでほしいと思います。生まれた母子を民生委員などが訪問し、相談できる体制をとりたいですね。悩んでいる親の問題を解決するのは、結局は子のためです。青梅市では、社会福祉協議会が運営する学童保育所で午前中に子育てサロン開くなど、小規模の子育てサロンをたくさん作り、母親が自分にあつた楽しめる所を見つけられるのを目指しています。

親の元で育てられない子を預かっています。どんな親でも子にとってはかけがえのない存在です。施設と親子がともに歩み、再び家庭に戻したい。親と暮らすかどうかは子を選ぶ問題です。

子が自主的にものを考え責任を持つて行動する人になるには、小さい頃にしっかりと手をかけ、善悪の判断・人との付き合い方を学び親子の信頼関係に基づいて思春期には自立させることが必要です。自己表現を身につけるのは難しいものです。乱暴な言葉で表現する子は、他人とぶつかることで学

んでいきます。しかし、引きこもりや家庭内暴力を起こす子は、小さい時は良い子だった事も多いが自ら考えないので流されます。この流れが良いか悪いか自分で判断できない。自己表現も出来ず、思春期になって困ったり不安になるのです。

★ クリーン活動 ★

今年度二回目のクリーン活動は十一月二十三日(水・祝)、陵南中PTAとの共催で行われました。陵南中周辺、甲州街道、けやき通りの歩道のゴミや落ち葉を清掃していただきました。

毎年、陵南中の生徒は主に部活動単位でたくさん参加してくれませんが、今年は部活動を引退した三年生も約半数が参加してくれました。また、小学生、小中学校の先生方・PTA、青少対の委員などあわせて三百名を超える方が協力してくださりました。

今年も、清掃の後はおにぎりとお豚汁を用意しました。豚汁は、青少対の委員のうち、民生児童委員・主任児童委員・育成指導員・保護司および陵南中の元PTAの方々の協力を得て提供することが出来

ました。調理室で準備した後、校庭の大鍋で温めながら皆さんを待ちました。年々、豚汁の作業も効率よくできるようになり、また、食べた皆さんから「おいしかった」の声をたくさん頂き、裏方一同、とても励みになりました。



▲ 調理を終えて、お疲れ様

編集委員(各校PTA)

陵南中学校

前田 明美

東浅川小学校

柴野 一美、木村 由美子、

田野倉 明美

横山第二小学校

藤本 美紗、田中 由美子、

茂木 浩子

散田小学校

小林 広実、石本 希

桐田小学校

大石 智史、清水 一美

青少年育成指導員

長岡 陽子